



**EXPO
2027**

YOKOHAMA JAPAN

GREEN×EXPO 2027

一般営業参加のご紹介

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
事業部事業企画課

本資料には、著作権法に定める検討の過程における利用等として、著作権者等の許諾を得ていない著作物等が一部に含まれている可能性があります。
このため、この資料は検討資料としての使用のみに留めて頂くことを予定しておりますのでご了承ください。
本資料の情報は、現在検討中の内容のものもあり、今後変更する可能性があります。

目次



国際博覧会とGREEN × EXPO2027	3
過去博覧会の様子	4
GREEN × EXPO 2027の想定来場者数・構成	6
GREEN × EXPO 2027における一般営業出店	7
一般営業出店形態	8
一般営業出店における各Villageの特徴	10
スケジュール	12
(参考資料)	
一般営業出店のイメージ(愛・地球博)	14
建築・内装・設備の共通工事区分の考え方(検討中)	16
内装費試算	17

国際博覧会 と GREEN × EXPO 2027



国際博覧会条約に基づく博覧会は、開催希望国(政府)が博覧会国際事務局(BIE)に立候補し、総会の承認によって開催が決定します。
 特に国際“園芸”博覧会はBIEに加え国際園芸家協会(AIPH)の承認も必要となり、今回は1990年国際花と緑の博覧会(大阪)以来
 37年ぶりに日本で最上位(A1)の認定博が横浜で開催されることになりました。

日本における博覧会の変遷 国際博覧会は時代の変革期に改革され、社会環境や構造をアップデートさせていく契機となりました



Expo 2023 DOHA



Floriade Expo 2022
Amsterdam - Almere



Expo 1990 Osaka



過去の国際園芸博覧会の様子



GREEN × EXPO 2027の想定来場者数・構成

会場は羽田空港・成田空港や新横浜駅といった公共交通機関の主要拠点からもアクセスしやすく、自家用車での来場も可能です。

首都圏 人口約5,000万人をメインターゲットとし、1都3県初開催の国際博覧会はイベントとしての注目度も高いです。

さらに国内主要テーマパークの月平均来場者数と遜色ない来場者数を見込みます。



施設別来場者数の比較

施設名称	年間 (万人)	月平均 (万人)
GREEN × EXPO 2027 ※6か月間のみ	1,000	167
ユニバーサルスタジオ・ジャパン(2023年度)	1,600	133
東京ディズニーリゾート(2023年度)	2,630	220
ハウステンボス(2022年度)	250	20

来場者のコアターゲット

花・緑好き／観光

- 花卉・園芸・造園の専門家・愛好家
- アウトドア・自然・食の関心層
- 観光客・訪日旅行者

ビジネス・研究

- 環境関連のビジネスパーソン
- 学術研究者
- SDGsなど社会課題への問題意識が高い層

子ども・教育

- 首都圏の保育園・幼稚園・学校の遠足・課外授業
- 修学旅行(中学・高校)
- 休日のファミリー層

特に **花・緑好きの女性(30代以上)** に対する訴求力が強いイベント

(2023年度市場調査結果より)

GREEN × EXPO 2027における一般営業出店

出店形態

協会が用意した建物内での飲食・物販の営業出店
 (合計営業面積 8,380㎡・合計店舗数 55店舗)

- ・ フードコート
- ・ 予約制個室付レストラン
- ・ レストラン
- ・ カフェ
- ・ ファストフード
- ・ 公式記念ショップ
- ・ グリーンショップ
- ・ 物産館
- ・ コンビニエンスストア
- ・ FOOD STATION
- ・ 一般ショップ

開園時間

通常時 9:30～19:00

夜間開園時 9:30～21:30

※夜間開園は会場の一部で週末や夏季を中心に実施する予定

出店期間

2027年3月19日(金)～2027年9月26日(日) 192日間

区画規模・形状

手 法：建物渡し、内装等の演出設備は出店者負担

出店面積：業態に応じて設定(約100㎡～300㎡)

出店費(予定)

営業権利金(固定)及び売上納付金(売上歩合等)を予定しており、固定料・歩率については現在検討中

営業権利金の支払いは契約時50%、引き渡し時50%を想定

	飲食		物販	
	売上納付金	営業権利金/㎡ ※引き渡し～撤去復旧まで	売上納付金	営業権利金/㎡ ※引き渡し～撤去復旧まで
大阪・関西万博(参考)	8.0～20.0%	50,000円	13.0%	100,000円
GREEN × EXPO 2027	8.0%	60,000円	8.0～12.0%	100,000円

一般営業出店形態(飲食)

	フードコート	予約制個室付 レストラン	レストラン	カフェ	ファストフード
区画数	1	1	5	12	9
店舗面積(m ²)	900	400	300	200	100
座席の有無	○	○	○	○	○
同席の可否	○	×	×	×	×
個室の有無	×	○	×	×	×
テラス席の設置	×	出店者判断で 設置可能	出店者判断で 設置可能	必須(20席)	必須(9席)
予約制	×	○ ただし当日受け入れも可	×	×	×
テーブルサービス	×	○	○	×	×
セルフサービス	○	×	×	○	○
テイクアウト	○	×	×	○	○
店舗イメージ	カジュアル	高級感	カジュアル～高級	カジュアル	カジュアル
厨房設備	○	○	○	○	○
メニューの種類	ビーガン・ハラル メニュー対応可能な 店舗を最低1店舗 入れる	今後検討	今後検討	飲料中心	ハンバーガー・ピザ クレープ・うどん・カレー など
アルコール提供	○	○	○	○	○

一般営業出店形態(物販)

	公式記念ショップ	グリーンショップ	物産館	コンビニエンスストア	FOOD STATION	一般ショップ
区画数	2	1	1	6 会場内 5/会場外 1	15	2
店舗面積(m ²)	300	300+屋外100	200	会場内 100 会場外 80	20	100
座席の有無	×	△	×	×	×	△
テラス席の有無	×	屋外スペース に含み設置可能	×	出店者判断で 設置可能	×	出店者判断で 設置可能
店舗イメージ	カジュアル	カジュアル (植物販売+カフェ等)	カジュアル～高級	カジュアル	カジュアル	カジュアル～高級
生もの・食品の販売	○	○	○	○	○	○
商品の種類	マスターライセンス グッズ	花卉 グリーン 園芸用品	特産品 (全国・神奈川・横浜)	弁当・飲料 一般店で販売され ているもの	弁当・おにぎり サラダ・サンドイッチ 冷凍食品・スイーツ等	食品ほか 本博覧会に ふさわしいもの
アルコール販売	○	○	○	○	○	○
飲料販売	○	○	○	○	○	○

一般営業出店に向けたVillageのイメージ(1)

メインゲート前

GREEN × EXPO 2027来場のはじまりとおわり

【立地特性】

- ・来場者全員が必ず2度通過するエリア(入場・退場)
- ・行きも帰りも高揚感が生まれる場
- ・入場時に店舗を確認し、退場時に店舗に立ち寄る
- ・待合せや休憩所など、ひとが滞留する機能がある

【出店予定区画】 合計1800㎡ 8区画

- ・カフェ(200㎡) 2区画
- ・公式記念ショップ(300㎡) 2区画
- ・グリーンショップ(400㎡) 1区画
- ・物産館(200㎡) 1区画
- ・コンビニ(100㎡) 2区画

Urban GX Village

グリーン社会を実現する技術と未来都市の風景を体験する

【立地特性】

- ・Village出展(企業パビリオン)が近くにあり、館内飲食店もある
- ・多くのひとが集まる大催事場が近くにある

【業態のイメージ】

- ・未来感のある、最新技術の飲食店
- ・緑豊かな都市のポケットパーク
- ・おしゃれなカフェテラス(川沿いにテラス)

【出店予定区画】 合計1200㎡ 11区画

- ・レストラン(300㎡) 2区画
- ・ファストフード(100㎡) 2区画
- ・コンビニ(100㎡) 1区画
- ・カフェ(200㎡) 1区画
- ・FOOD STATION(20㎡) 5区画

メインゲート前

中催事場

Farm & Food Village

国際出展ゾーン

Urban GX Village

Craft Village

Kids Village

小催事場前

小催事場前(シンボルゾーン)

GREEN × EXPO 2027を象徴するゾーン

- 【出店予定区画】 合計400㎡ 2区画**
- ・カフェ(200㎡) 2区画

SATOYAMA Village

会場本来の生物多様性を体感できる
市民活動拠点で五感で自然を楽しむ

【立地特性】

- ・日本政府出展と小催事場に隣接している
- ・競合する店舗数が他Villageと比べ、非常に少ない

【業態のイメージ】

- ・里山の中で落ち着いて過ごせるカフェ
- ・アウトドアを楽しめるカフェ

- 【出店予定区画】 合計400㎡ 2区画**
- ・カフェ(200㎡) 2区画

Craft Village

自然と共生して生まれた生活・生業の智慧を学び
これからのグリーン社会における伝統文化を体験する

【立地特性】

- ・ねぶたの運行コースに面している
- ・多様な参加国が出展する国際出展ゾーンに隣接している
- ・既存樹木である「桑の杜」があり、緑にあふれている

【業態のイメージ】

- ・職人技や伝統技術を体感できる飲食店
- ・伝統的な発酵食品を体験できる飲食店
- ・自然素材の工芸(クラフト)体験ができる物販店
- ・おしゃれなカフェテラス(川沿いにテラス)

【出店予定区画】 合計400㎡ 3区画

- ・カフェ(200㎡) 1区画
- ・ファストフード(100㎡) 2区画

日本ゾーン

SATOYAMA Village

市民の森

一般営業出店に向けたVillageのイメージ(2)



Farm & Food Village～農と食～

「産地から食卓まで」をテーマに、持続可能な農と食がもたらすおいしさを身近に楽しく味わう

- 【立地特性】
- ・ 会場で最大規模の営業施設が集積したエリア
 - ・ 近くに企業出展や中催事場がある
 - ・ テラス前に花畑が広がる

- 【業態のイメージ】
- ・ 多種多様な飲食店群

【出店予定区画】 合計2300㎡

・ フードコート(900㎡)	12区画
・ 予約制個室付レストラン(400㎡)	1区画
・ レストラン(300㎡)	1区画
・ ファストフード(100㎡)	1区画
・ 一般ショップ(100㎡)	1区画
・ コンビニ(100㎡)	1区画
・ FOOD STATION(20㎡)	5区画

Farm & Food Village～美と健康～

「美と健康」をテーマに、農と食がもたらす心身の健康や幸福感の大切さを体感する

- 【立地特性】
- ・ 会場で最大規模の営業施設が集積したエリア
 - ・ 近くに企業出展やテーマ館がある

- 【業態のイメージ】
- ・ 美と健康に関する飲食店・物販店

【出店予定区画】 合計1500㎡

・ レストラン(300㎡)	8区画
・ カフェ(200㎡)	2区画
・ ファストフード(100㎡)	3区画
・ 一般ショップ(100㎡)	2区画
・ 一般ショップ(100㎡)	1区画

Kids Village

子どもの好奇心を刺激し未来社会のアイデアを生む
家族で自然やいのちを楽しく学ぶ

【立地特性】

- ・ 多様な参加国が出展する国際出展ゾーンに隣接している
- ・ 有料・無料の屋外遊具があり、外遊びができる

【業態のイメージ】

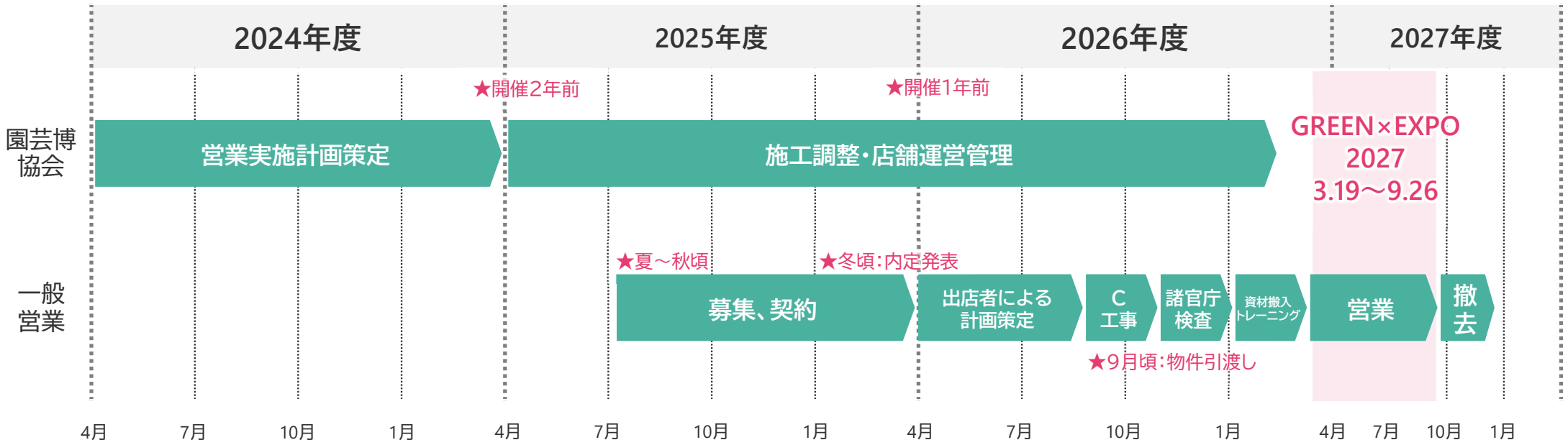
- ・ 子供連れでも心おきなく楽しめる遊具で遊べる店
- ・ 幼児を連れてきた親子が休めるキッズカフェ
- ・ ファミリーユースの飲食店やテイクアウトできる食物販店

【出店予定区画】 合計600㎡

・ カフェ(200㎡)	9区画
・ ファストフード(100㎡)	1区画
・ FOOD STATION(20㎡)	2区画
・ コンビニ(100㎡)	5区画
・ コンビニ(100㎡)	1区画

スケジュール

公募時期は2025年夏～秋頃、内定発表時期は2025年冬頃を予定しております



※スケジュールは変更の可能性あり